

## 2016年度以降のカリキュラム適用者

### 『リベラルアーツ学群専攻プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この冊子は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

この冊子は、各専攻プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

#### ●履修の手引き

- ・「履修の手引き」には、各専攻プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望する専攻プログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にして履修を行って下さい。
- ・とくに、専攻プログラムのカリキュラム構成が「積み上げ型」か「自由履修型」かで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

#### ●履修モデル

- ・「履修モデル」とは、各専攻プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各専攻プログラムを修了するためには32～36単位の科目を修得することが必要ですが、どの専攻プログラムも、それをほかに上回る数の科目を準備しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたモデル・カリキュラムの例を示したものです。
- ・各専攻プログラムの「履修モデル」ページには、その専攻プログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目（教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目）です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- ・また、「その他の推奨科目」には、その専攻プログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- ・リベラルアーツ学群には、33の専攻プログラム、およびマイナープログラムがありますが、この冊子には、各専攻プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心ある専攻プログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、このように履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learnerとして、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたリベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

リベラルアーツ学群教員一同

## 日本地域研究専攻プログラム

### 履修のしかた

- 「地域研究」専攻の場合、履修の順序性というは余りありません。各自の興味・関心に応じて歴史中心とか、文化中心というように、履修科目を決めるのがよいでしょう。
- 2年次に履修しておいた方がいい科目：  
教職履修を考えている人は、教職課程のガイダンスで指示された科目を必ず履修するとともに、教職のための専門科目（「〇〇概論」のような科目）を、早めに履修することが大切です。それ以外では、各自の問題関心に即して履修を。

### 他の専攻プログラムとの関係

- あくまでも各自の問題関心によります。「歴史」とか「文化」とか、分野・領域を決めて取り組むことがおすすめです。「日本」と「経済」をキーワードに、というのもあります。
- GC 学群の科目には、英語と中国語による「日本研究」の科目がそれぞれ用意されていますので、それらを受講すると、留学生との授業を通じての交流が可能になることもあります。

### 留学・教職その他

- 留学について  
機会があれば留学もよいでしょう。日本と違う世界にふれると、日本について考え直すきっかけにもなります。
- 教職について  
教員免許状取得のためには、計画的な履修が肝心。  
「地歴」の教員免許状取得を考えるなら、環境関係の科目履修もお勧めです。

### 学生へのメッセージ

- 大学での勉強の重要な側面の一つは、「現状」認識ということです。「日本地域研究」専攻プログラムの場合は、研究対象が身近にあることが多いので、それをより多角的・より具体的に調べたり、考察したりできる点が強みです。
- 4年生になると、就職活動に時間をとられる場合が多く、大学での科目履修は2年生・3年生がことに重要な時期。専攻したい領域を定め、それに対応する科目を履修しつつ、それに関連する本をおおいに読んでください。

日本地域研究専攻プログラム

1 中学・高校教員・履修モデル

本履修モデルは、中学社会・高校地歴の教員免許状取得者を念頭に置いたものです。この「日本地域研究専攻プログラム」は、そのための科目を用意しています。

これらの教員免許状取得のためには、教職科目の教員の説明なども参考に、一方では効率的な単位修得をはかりながら、他方では例えば高校の日本史を想定してそれに関連する科目を重点的に履修するなど、教員採用試験に充分対応できる学力を幅広く身に付けることが必要です。教員採用試験に備えるなら、このプログラムの科目をさらに多く履修することが望ましいといえます。

専攻演習Ⅰ・Ⅱは、プレゼンテーション練習の格好の場にもなるし、「学生時代はこれを勉強した」とはつきり言えるものを作る場にもなるので、教員志望者はぜひ履修するとよいでしょう。

日本地域研究専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
歴史	◎	HIS1001L	日本史概論	4	○	JPS2131L	日本の歴史Ⅰ	4	○	HIS3110L	世界史における日本	4				
					○	JPS2132L	日本の歴史Ⅱ	4	○	JPS3130L	日本古代中世史	2				
					○	JPS2130L	戦後日本史	2		HIS3150L	日米交流史	4				
						ETH2020L	日本思想史	4								
						EDU2311L	日本教育史	2								
文化	*	GEG1010L	地誌学概論	2	◎	JPS2000L	日本研究概論	4	◎	JPS3140L	日本文化論	4		HIS4350L	日露文化交流史	4
	○	JPS1140L	日本の民俗	2		REL2300L	日本の宗教	4		LIT3113L	近代文学の世界	4				
						CLS2370L	日中比較文化	4		LIT3114L	現代文学の世界	4				
						ANS2133L	日中交流史	2		HIS3220L	日韓交流史	4				
						ANS2182L	日中交流論	2								
政治経済		LAW1020L	日本国憲法	2		POL2120L	日本の政治	4		INT3130L	日米関係論	4				
						POL2150L	現代日本の政治	4	○	INT3321L	近代日本の外交	4				
						ECO2320L	日本経済論	4								
					○	ECO2380L	日本経済史	4								
						JPS2380L	日本研究特論(日米文化社会比較)	4								
					MJS2200L	日本のジャーナリズム	2									

\* この科目は、教職課程の「教科に関する科目」としては必修である。

その他の推奨科目 ※〔〕内は単位数

- ・専攻演習Ⅰ〔2〕
- ・専攻演習Ⅱ〔2〕
- ・卒業論文〔4〕

日本地域研究専攻プログラム

2 ジャーナリズム系などの履修モデル

本履修モデルは、各種ジャーナリズムなどを念頭に置いたものです。本学LA学群には、「メディア(ジャーナリズム)専攻プログラム」がありますから、ジャーナリズム志向の学生がそれを選ぶのは立派な考えです。しかし、ジャーナリズムの世界は多様ですから、別の考え方もあります。学生時代に「これを学んだ」ということを明確に説明できることは、ジャーナリズム志望者には重要です。「日本地域研究」を自分の専攻プログラムとし、そのなかからさらに範囲を絞るという考え方もよいと思います。ここではその履修モデルの例として、「歴史学」的な科目に重点を置いたモデルを作りました。「歴史学」といっても日本史分野のものが多くなっています。また、政治・経済・文化に関わる科目も学び、いろいろな研究領域に渡りながら、多角的に歴史を理解することを目指します。多角的でありつつ、「日本」「歴史」をキーワードに、まとまりをもった学びができるはずです。専攻演習I・IIは、プレゼンテーション練習の格好の場にもなるし、「学生時代はこれを勉強した」とはつきり言えるものを作る場にもなる、最も大学らしい学びの科目の一つです。

日本地域研究専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
歴史	◎	HIS1001L	日本史概論	4	○	JPS2131L	日本の歴史Ⅰ	4		HIS3110L	世界史における日本	4				
					○	JP S2132L	日本の歴史Ⅱ	4		JPS3130L	日本古代中世史	2				
					○	JPS2130L	戦後日本史	2	○	HIS3150L	日米交流史	4				
						ETH2020L	日本思想史	4								
						EDU2311L	日本教育史	2								
文化		GEG1010L	地誌学概論	2	◎	JPS2000L	日本研究概論	4	◎	JPS3140L	日本文化論	4		HIS4350L	日露文化交流史	4
	○	JPS1140L	日本の民俗	2		REL2300L	日本の宗教	4	○	LIT3113L	近代文学の世界	4				
						CLS2370L	日中比較文化	4	○	JLS3114L	現代文学の世界	4				
						ANS2133L	日中交流史	2		HIS3220L	日韓交流史	4				
						ANS2182L	日中交流論	2								
政治 経済		LAW1020L	日本国憲法	2	○	POL2120L	日本の政治	4		INT3130L	日米関係論	4				
						POL2150L	現代日本の政治	4		INT3321L	近代日本の外交	4				
					○	ECO2320L	日本経済論	4								
					○	ECO2380L	日本経済史	4								
						JPS2380L	日本研究特論(日米文化社会比較)	4								
					MJS2200L	日本のジャーナリズム	2									

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・専攻演習Ⅰ〔2〕
- ・専攻演習Ⅱ〔2〕
- ・卒業論文〔4〕